

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等		河川法		
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり		問	担当課(室)	都市整備課		
	中項目	基本施策	03	災害に強いまちづくり			合	職・氏名	土木係長 大森 康晴	
	小項目	施策	01	河川改修・砂防施設整備			先	電 話	0869-64-1835	
事務事業名		03		河川維持管理事業		このシート作成に要した時間		4.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	河川沿線で生活を営む市民		
目的 (何のために)	台風等の大雨時の堤防の決壊・氾濫による浸水被害を防ぐ。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	河川維持修繕の必要な箇所への不適切な対応による事故の発生を防止する。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	
	河川維持管理事業	河川構造物の老朽などによる部分的な修繕や小規模な浚渫を行う。	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	10,356	9,977	10,880
	必要人員費	人員件費	千円	0.26人	1,960	0.30人
	事業費	費	千円	12,316	12,631	15,448
	財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					
	その他()					
	一般財源		12,316	12,631	15,448	
	受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績		
結果指標	結果指標量	説明	修繕1箇所当りの活動コスト	41	43	42
	対前年比	%	-	104.9%	97.7%	
	活動コスト	円	12,316,000	12,631,000	15,448,000	
	単位当たりコスト	円	300,390	293,744	367,810	

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	河川維持管理不足による事故発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
河川維持管理不足による事故発生件数が「0」件の場合は達成率100%、1件でも事故が発生した場合は0%とする。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い		A
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
市民参画度				B

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	地元から要望等があった箇所の修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけ、実施していく。

総合評価		総合評価
修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて事業実施しているが、更なる事業費の削減や事務処理の向上を図る必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
		B

平成25年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了		
取組目標	修繕要望箇所を十分精査し、優先順位をつけて実施し、更なる事業費の削減を図る。		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する